

第 12 回

熊本県議会

国際スポーツ大会推進特別委員会会議記録

平成29年5月10日

閉 会 中

場所 第 1 委 員 会 室

第 12 回 熊本県議会 国際スポーツ大会推進特別委員会会議記録

平成29年5月10日(水曜日)

午前11時0分開議

午前11時54分閉会

本日の会議に付した事件

(1) ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件

①ラグビー日本代表の国際テストマッチ熊本開催について

(2) その他

出席委員(15人)

委員長 池田和貴  
副委員長 高野洋介  
委員 氷室雄一郎  
委員 藤川隆夫  
委員 荒木章博  
委員 松田三郎  
委員 溝口幸治  
委員 西 聖一  
委員 淵上陽一  
委員 橋口海平  
委員 楠本千秋  
委員 岩田智子  
委員 高島和男  
委員 大平雄一  
委員 吉田孝平

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

商工観光労働部

部長 奥 菫 惣 幸  
政策審議監 中 川 誠  
観光経済交流局長 原 山 明 博  
観光物産課長 永 友 義 孝  
国際課長 小 金 丸 健  
国際スポーツ大会

推進課長 水 谷 孝 司

教育委員会

教育理事 山 本 國 雄

教育政策課長 江 藤 公 俊

体育保健課長 西 村 浩 二

警察本部

警備第二課長 森 本 信 明

交通規制課長 瀬 河 清 信

事務局職員出席者

政務調査課主幹 福 島 哲 也

政務調査課主幹 佐 藤 誠

午前11時0分開会

○池田和貴委員長 それでは、ただいまから第12回国際スポーツ大会推進特別委員会を開催いたします。

では、まず初めに、私のほうから御挨拶をさせていただきます。

どうも済みません。委員の皆さん方、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日は、期間外で特別委員会を開催させていただきました。本当、お忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。

もう御承知のとおり、私たちの所管につきましては、このラグビーワールドカップ、あとハンドボールの世界大会、それと東京オリンピック・パラリンピックが所管の事務になっているところですが、もう前年から引き続き、ラグビーワールドカップについては、この6月10日に行われます国際テストマッチ、この観客動員が大変重要だということを、前回から引き続き入っらっしゃる先生方は御承知のとおりだというふうに思っております。

いよいよ約1カ月前になりまして、4月の1日から国際テストマッチのチケットの販売

が行われておりますが、少々心配をしなければいけないような状況でございます。

そういった意味で、急遽でございましたが、委員会を開催させていただきまして、今の現状を調べた上で、6月10日までどんなことが私たちにできるか、そういったことを議論させていただきたいということで、今回特別委員会を開催したところでございます。

この2019年のラグビーワールドカップの熊本でのマッチメイクは、魅力的なマッチメイクを誘致するためにも、6月10日の国際テストマッチでの観客動員、非常に大きな意味を持ちますので、ぜひ先生方のほうから、現状を踏まえた上で、いろんな形で御意見を賜ればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げまして、委員長としての御挨拶にさせていただきます。よろしくお願いたします。

続きまして、副委員長の高野先生のほうからも一言御挨拶をお願いします。

○高野洋介副委員長 皆さんおはようございます。

新たに副委員長に選任いただきました高野洋介でございます。

池田委員長を補佐し、先ほど言われましたラグビー、ハンドボール、東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、精いっぱい頑張っておりますので、委員各位、また執行部の皆様方の御協力をよろしくお願いたします。

簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

○池田和貴委員長 ありがとうございます。

次に、執行部を代表して、奥蔭商工観光労働部長から挨拶をお願いいたします。

○奥蔭商工観光労働部長 おはようございま

す。

今年度執行部が参加します初めての委員会の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。着座にて失礼いたします。

委員の皆様には、国際スポーツ大会の推進に日ごろからさまざまな御支援、御協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

御承知のとおり、本県では、2019年のラグビーワールドカップ、また女子ハンドボール世界選手権大会が開催されます。さらに、翌年の2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開かれ、本県では、その事前キャンプの誘致に取り組んでおります。

先日、東京オリンピック・パラリンピックのフラッグツアーセレモニーには、議長、副議長を初め、本委員会からも多数の御参加をいただき、ありがとうございました。

現在、東京都から本県に引き継がれましたオリンピック旗、パラリンピック旗は、県内を巡回していますけれども、このような取り組みを通じて、県内の国際スポーツ大会に向けた機運の醸成を図ってまいりたいと考えております。

さて、本日でございますが、先ほど委員長、副委員長からお話がありましたように、ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件を議題として、委員会を開催いただきました。

この件につきましては、昨年度から、当委員会において、また本会議においても、6月に開催されるラグビー日本代表の国際テストマッチは、この秋のワールドカップ本番の試合日程の決定に影響を及ぼす可能性のある大変重要なものであり、しっかりと取り組んでいくよう御意見をいただいております。

また、我々事務局としても、ワールドカップ本番に向け、集客や輸送警備などの経験値を向上させる大変重要な機会と位置づけております。

今回の日本代表の国際テストマッチでは、

熊本での対ルーマニア戦、静岡、東京での対アイルランド戦と3連戦が行われます。熊本での開催は、今回が初めてとなりますが、熊本地震からの復興支援が決め手となり、開催地として選ばれたものと考えております。

ぜひ多くの県民の皆様にご来場いただき、世界最高レベルのプレーを楽しんでいただくとともに、熊本は地震から着実に復興してきていることを全国に示していきたいと考えております。

本日は、くしくも京都でラグビーワールドカップの組み合わせ抽選会が行われ、本県からも小野副知事が参加いたします。

今後、この組み合わせ抽選会を契機として、大会に向けてラグビー熱が盛り上がっていくことと思います。

この盛り上がりの中、本県で開催される6月10日のテストマッチについて、開催1カ月前の準備状況等を担当課長から御説明させていただきますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○池田和貴委員長 ありがとうございます。

次に、執行部出席職員の自己紹介をお願いいたします。

（奥菌商工観光労働部長、中川政策審議監～瀬河交通規制課長の順に自己紹介）

○池田和貴委員長 ありがとうございます。

それでは、審議に入ります。

まず、執行部から、ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件に関し、ラグビー日本代表の国際テストマッチ熊本開催についての説明の後に、一括して質疑を受けたいと思います。

では、説明をお願いいたします。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 失礼して座って説明させていただきます。

本日は、資料は、お手元のA4横のページ上に「特別委員会資料」と書かれているホッチキスでとじたものが1部、それから「2019年、この熱狂が日本にやってくる。」と書かれましたA4見開きのラグビーワールドカップのパンフレットが1部、また「熊本初開催」と書かれているA4のラグビー日本代表国際テストマッチのチラシの3種類でございます。よろしくお願いたします。

では、A4横の資料をお願いいたします。

表紙は、目次です。

これから、付託案件、ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件について、目次に沿って説明させていただきます。

では、開いていただいて、1ページをお願いいたします。

今回新たに特別委員会の委員になられた先生もおられますので、ワールドカップ大会の概要をまず簡単に説明させていただきます。

まず、(1)の大会の期間ですけれども、2019年、平成31年9月20日から11月2日までの44日間、約1カ月半になります。

会場は、(2)の国内12会場で開催されます。

熊本会場は、熊本県、熊本市の共同開催で、県民総合運動公園陸上競技場が会場となります。また、九州では、福岡、大分でも開催されます。

参加チームは、全部で20チームです。全部で48試合が行われ、このうち熊本では3試合程度が行われるのではないかと見込んでおります。

現時点では、ニュージーランド、オーストラリアなど12チームの参加が決定しており、残る8枠が各大陸予選を経て今後決定されていきます。

2ページをお願いします。

国際スポーツ大会の主なスケジュールでございます。

表の真ん中がラグビーワールドカップのス

ケジュールになります。

平成29年度、2017年度のところをお願いいたします。

四角囲みが4つあると思いますが、まず最初にプール分けとあります。

部長の挨拶にもありましたけれども、本日の夕方、京都で抽選会が行われます。プール分けとは、予選グループ分けの組み合わせ抽選のことです。

ここで、恐れ入りますが、A4見開きのパンフレットをお願いいたします。

開いていただいて、右のページをごらんください。

日本大会の前の大会、2015年イングランド大会での日本代表の試合結果が載っています。

イングランド大会では、日本は、プールBとして、左上の南アフリカ、その右のスコットランド、左下のサモア、その右のアメリカと予選グループを戦いました。

このように、プール分けでは、それぞれのチームがどのチームと予選グループを戦うかが決まります。

なお、本日のプール分け抽選会の模様は、BS放送で中継されますが、午後5時から、熊本市上通のびのび広場のモニターでパブリックビューイングを行うこととしております。

資料に戻っていただいて、スケジュールをごらんください。

プール分けの右に大会日程決定とあります。

この秋に、2年後の世界カップの各試合が何月何日にどこの会場で行われるかが発表されます。

済みませんが、もう一度先ほどのパンフレットのところをお願いいたします。

先ほどのページの各対戦相手と試合結果が、それぞれの写真の下にあります。

例えば、左上の日本対南アフリカは、34対

32で日本が勝ちましたけれども、その上に小さく、プールBで、日本の第1戦が、9月19日にブライトンコミュニティスタジアムで行われたというふうに記してあります。

同様に、第2戦は、9月23日にグロスター・キングスホルムスタジアムでスコットランドと、第3戦は、10月3日にミルトンキーンズ・スタジアムでサモアと、第4戦は、10月11日に、またグロスター・キングスホルムスタジアムでアメリカとの試合が行われました。

このように、この秋には、何月何日に、どこの会場で、どのチームとどのチームが試合を行うかが決まり、熊本での試合日程と対戦カードも決まることとなります。

今回の6月10日の国際テストマッチは、この大会日程決定の直前に行われるテストマッチとなります。多くの観戦者が来場し、試合が盛り上がるほど熊本で好カードが組まれるのではないかと思いますので、今回のテストマッチでは多くの観客で会場を埋めなければならないと考えているところです。

では、これから国際テストマッチの概要と現在の準備状況を説明してまいります。

特別委員会資料の、済みません、3ページをお願いいたします。

試合の名称は、リポビタンDチャレンジカップ2017熊本地震復興支援ラグビー日本代表戦で、対戦カードは日本代表対ルーマニア代表です。

今回のテストマッチは、熊本、静岡、東京の3カ所で行われ、熊本が3連戦の初戦となります。

主催は、日本ラグビーフットボール協会と九州、また熊本県のラグビー協会が主管となっています。

6月10日土曜日の午後2時40分から、県総合運動公園のえがお健康スタジアムで行われます。

チケットについては、後ほど改めて御説明

いたします。

対戦相手のルーマニアは、現在の世界ランキングこそ日本を下回っていますが、これまでワールドカップ全てに出場しており、勝利の数は日本を上回るラグビー伝統国です。

ルーマニアは、今のところまだワールドカップの出場権を獲得しておらず、大陸予選に向け強化を図っており、今回のテストマッチは、真剣勝負の好ゲームが期待されております。

なお、静岡、東京では、対戦国がアイルランドに変わります。

4ページをお願いいたします。

会場の整備計画です。

日本ラグビー協会の国際テストマッチ基準に基づき、また、ワールドカップ本番を見据え、今回整備するものを御紹介します。

まず、ピッチ、グラウンドですけれども、競技エリアのラインから5メートルの緩衝地帯を天然芝で確保するとともに、ゴールポストは17メートルのものを整備する予定です。

また、チーム更衣室は、今回個別ロッカータイプのを仮設で整備しており、トレーニング設備についても、休館中の県立体育館トレーニング室からローイングマシンやバーベルのおもりを借用するなど、対応することとしております。

この2つは、いずれもワールドカップ本番に向け予算化をし、整備の準備を進めておりますけれども、今回のテストマッチでは仮設などで対応することとしております。

次に、5、今回の観客の輸送計画についてです。

5ページには、会場の周辺図を示しています。

今回、多くの集客を目標としていることから、運動公園内や周辺の駐車場には一般の自家用車の駐車場は用意せず、公共交通機関またはパーク・アンド・バスライドでの御来場をお願いしています。

これは、運動公園内や周辺の駐車場には限りがあるため、一般の自家用車の駐車を可とすると、激しい交通渋滞が予想され、観客の円滑な輸送に支障が生じると見込まれるためです。

運動公園内の駐車場は、パーク・アンド・バスライドのバスやシャトルバス、タクシー乗降場として、また、団体に申し込まれた持ち込みバスや他県からのツアーバスの駐車場として利用することを予定しております。

次に、6ページをお願いいたします。

会場へのアクセスについてです。

左のほうですけれども、交通渋滞を避けるため、会場及び周辺には自家用車の駐車場はなく、会場周辺での送迎、乗降も遠慮していただくよう呼びかけています。

公共交通機関は、JR豊肥本線の光の森駅経由のシャトルバス、熊本駅や市内中心部から路線バスや臨時直行便の利用を呼びかけています。また、九州各県からは、会場への直行バスも運行されます。

また、自家用車を御利用の場合は、グランメッセ熊本、東京エレクトロン九州さんの駐車場をお借りし、パーク・アンド・バスライドでの来場を呼びかけています。

パーク・アンド・バスライドの料金は、自動車1台当たり1,000円の御負担をお願いしています。

これには、駐車料金と会場までの往復のバス代が含まれます。1台に複数人乗車されても料金は1,000円ですので、乗り合わせで来られるとその分お得になります。

円滑な乗降、スムーズな輸送を図るため、インターネットやセブンイレブン店等で事前にチケットを購入していただくこととしております。

今回のパーク・アンド・バスライドによる同じ会場への輸送は、平成23年に約4万人を動員したミスターチルドレンのコンサートと同様の手法をとっております。

2019年のワールドカップ本番での観客輸送を見据え、今回のテストマッチは、事務局にとって大変貴重な実地の機会となります。

今回の輸送計画を着実に実施していくとともに、どのような運用計画となるのか、問題点をしっかり図り、検証してまいりたいと考えております。

次に、チケットの販売状況です。

7ページをお願いします。

連休が挟まりましたので、少し前のデータになりますけれども、4月19日現在での日本ラグビー協会からの集計報告により御説明いたします。

済みません。チラシをごらんいただいて、その裏をごらんいただけますでしょうか、あわせて。

チラシ裏の右上にありますとおり、スタンドの席は、指定席のメインスタンド、カテゴリー1と、その両脇のカテゴリー2及び自由席のバックスタンドとゴール裏のカテゴリー3となっております。

料金は、それぞれ前売り大人料金で、カテゴリー1が6,000円、カテゴリー2が4,000円、カテゴリー3が3,000円となっております。

資料の表をお願いいたします。

まず、表の下に※印で書いておりますけれども、会場のえがお健康スタジアムは、収容人員は3万2,000人となっておりますけれども、試合当日は、報道席や日本協会さんが招待される席として一定の数が使用されますので、その表の下から3つ目のところにチケットの販売可能席数(A)というのを記載しておりますけれども、その欄の右を見ていただいて、27,233という数字があると思いますが、これが、今回チケットが販売される総数になります。

これに対して、4月19日現在で既に販売されたものがその下の2,048席で、2万5,000席以上のチケットが残っているということを示

しております。

少し前の集計結果であり、また後ほど説明いたしますけれども、県ラグビー協会が独自に販売されているものが、この集計にはまだ含まれておりませんので、現時点での販売数は2,000枚を上回ることは間違いありませんけれども、それでもまだまだ多くのチケットが売れ残っている状況には間違いありません。

現在、どのような広報活動を行っており、集客対策を行っているか、これから御説明させていただきます。

7ページの下の方をお願いいたします。

まず、広報活動についてです。

まず、都市装飾として、水道町の白川沿いのビルの壁面に大会告知の看板を掲示し、水道町交差点のビルに懸垂幕を掲示しております。それぞれ報道投げ込みも行いましたので、地元メディアにも取り上げていただいたところです。

8ページをお願いいたします。

今後、鶴屋百貨店前のアーケードにつり看板を掲げたり、阿蘇くまもと空港にラグビーボールのモニュメントを設置し、試合の雰囲気盛り上げていきたいと考えております。

次に、(2)PR活動についてです。

大会開催決定後、さまざまなスポーツイベントなどの機会に大会の告知を行っております。

2月に行われた熊本城マラソンやサッカーの国際試合、熊本ヴォルターズやロアッソ熊本のホームゲーム、さらには県外でのラグビーなどのイベントに積極的に出向き、大会の告知と観戦の呼びかけを行っております。

当初は、テストマッチの開催をほとんどの方が御存じありませんでしたけれども、先週日曜日のロアッソ熊本のホームゲームでは、入場口でチラシを配布したところ、もうチケットを買いましたよとか、知っている、必ず行くよとか、多くの声をいただきましたの

で、徐々にではありますけれども、浸透してきているのではないかと実感したところです。

また、日本代表戦が熊本であることに、それはすごいと多くの方が反応されておりました。ほかの競技であれ、スポーツ観戦をされる層には、日本代表戦があることを重点的に訴求していることは有効ではないかと感じたところです。

9ページをお願いします。

(3)からは、媒体を活用した広報です。

同じワールドカップラグビーの開催地である福岡や大分とは、日ごろから連携をして広報活動などを行っておりますが、福岡県では、県の広報誌に熊本のテストマッチの開催を掲載していただきました。また、県の広報課の枠などを活用し、雑誌や新聞でも積極的に告知を行っております。

10ページをお願いします。

今回、九州各地からもツアーバスの運行が行われますけれども、旅行会社により、それぞれの地元紙に、⑥のような広告が必ず掲載される予定です。

また、(4)電波の媒体でも、県や熊本市の枠で広報を行っているほか、地元の放送局が、これは新聞も同様ですが、独自の取材の上、テストマッチの報道などを行っていただいております。

また、本日のプール分け抽選での機運の醸成を機に、日本ラグビー協会が、県内民放を活用し、テレビスポットを流されることになっております。

さらに、(5)になりますけれども、県や熊本市のホームページや機関誌を活用し、県民、市民の皆様への周知を図っているところです。

今後、さまざまな機会を捉え、また、媒体を効果的に活用し、広報活動を充実してまいります。

最後に、集客対策についてです。

13ページをお願いいたします。

今回のテストマッチは、熊本地震からの復興、また、ワールドカップ開催を見据え、蒲島知事もみずから誘致に動かれました。

このため、庁議などを通じ、県職員に、約1,000人を目標に、観戦の呼びかけを行っております。

また、県ラグビー協会も独自に目標を立てられ、会員一丸となって集客を図られております。

また、県内の企業、団体や九州各県のラグビー愛好者にも、観戦の呼びかけや周知の協力をお願いしております。大分や長崎、佐賀からは、バスを仕立てて応援に行くとの連絡も受けております。

また、(5)ですが、日本ラグビー協会の御好意により、被災地支援として児童生徒を招待したいとされており、教育委員会等を通じ、各学校に呼びかけを行っているところです。

テストマッチまであと1カ月となりました。これまで説明してまいりました取り組みをさらに充実、加速させ、多くの観客が見守る中、テストマッチを円滑に開催したいと考えております。

本日は、お忙しい中、委員会を開催していただき、まことにありがとうございます。

これからも、委員の皆様を初めとする県議会の皆様の御支援をよろしくお願い申し上げます。

説明は以上です。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○池田和貴委員長 以上で執行部から説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。委員の先生方から何かありませんでしょうか。

○荒木章博委員 今、4月19日時点で2,048ということですね、前売り売れている。もう



1カ月近く、20日以上たっているんですね。かなり、追い上げの状況というのは把握されてないんですかね。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 日本協会から、大体週に1回、状況の連絡があるんですけども、ちょっと連休が挟まりましたものですから、先週の状況がまだ届いておりませんので、済みませんけれども、本日はこの数字で説明させていただいております。

ただ、いろんな、パーク・アンド・バスライドの購入状況とか、そういうのは地元ですので連絡が入っておりますけれども、それは数字も伸びておりますので、販売は進んでいるものとは考えております。

○荒木章博委員 じゃあ、体育保健課と観光課と1つずつちょっとお尋ねしたいと思うんですけども、まず、スポーツ団体との取り組み、これだけの大会があるわけですから、スポーツ団体との取り組みはどうされているのか。

それと2番目は、観光団体との——要するに、よそからもおいでるわけですからね。そういう旅館組合とかいろんなところとの取り組みについてどう考えているのか。

それと3点目は、熊本のみならず、今説明もあったように、九州各県とのやっぱり取り組みというか、どういうふうにして、どこが窓口で、どういう御案内をされているのか。

まず、この3点をお尋ねしたい。

○池田和貴委員長 まず、1点目について、体育保健課の西村課長のほうからお願いします。

○西村体育保健課長 失礼いたします。体育保健課でございます。

スポーツ団体等につきましては、取りまとめ団体でもございます県の体育協会等と連携

をしながら今進めているところでございます。

また、質問の中にはございませんでしたけれども、教育委員会としまして、先ほど水谷課長のほうからございましたとおり、県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等も含めまして、この大会は、非常にすばらしい、また子供たちへの教育効果もございますので、あわせて今周知をしながら、特に、近隣で会場の近くでございます菊陽町の教育委員会並びに熊本市内の県立学校等には、直接出向いたり、または連絡したりしながら、一人でも多くの子供たちが観戦できるように今取り組んでいるところでございます。

以上です。

○永友観光物産課長 観光物産課でございます。

観光につきましては、まず、観光連盟がございまして、そちらのほうの会員のほうに周知を図っております。それから、物産振興協会ですね。そちらのほうにも会員が500ほどいらっしゃいますので、そちらのほうにお願いをしているところでございます。それに加えて、うちが所管しておりますグランメッセ、それから伝統工芸館あたりにも周知を図っているという状況でございます。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 3点目は、済みません、私から。

九州各県については、九州ラグビー協会の森会長に御協力をいただいて、各県への御支援を依頼していただきました。また、九州各県の協会へのお願いもやっております、いろんなラグビーの試合とかそういったイベントでも集客を呼びかけております。

各県も、特に福岡、大分は同じワールドカップの開催地ですので、そういったところの協力もしていただいておりますので、例えば大分県は、県で予算を立てて、バス10台仕立て

て応援していきますよとか、そういったこともおっしゃっていただいておりますので、次第に広がっていったのかなとは考えております。

○荒木章博委員 1番目の体育保健課が、スポーツ団体等との取り組みと。

これは、やっぱり具体的に、より積極的に、枚数ですから、幾ら売れたか、何枚売れたか、これが勝負ですから。そういうところは、スポーツ団体にきちんとやっぱり把握してやらないと、これ大事な大会が後から押し売りのようになったらマスコミから書かれますよ。

やっぱり機運を盛り上げるためには、その体育保健課の新課長が、先頭になって鉢巻きつけてでもやるような気持ちにならないと、どうも目の輝きが足らぬ、ちょっと。そういうふうに思います。

それと、小中学校、高校との取り組みというんですけれども、私が調べた範囲内では余り来てないですよ。ただ、張ってくれと言って張っているだけ、何の説明もない。学校です。ですね。私が知ったところ5カ所ぐらいかけたんですけど、きょう、こっち来るときに。そしたら、全然そういうのは来てないと。何かチラシみたいなやつは来たけど、それは張ってあると、学校にですね。

そういうところも、やっぱりただ張るだけではなくて、学校長と教育長が、こんな立派なテストマッチは、子供たちに感動を与えるからやっぱりやってほしいと、そういうところまでやっぱりやらないとだめですよ、どうせやるならば。

それと、観光団体との取り組み、観光物産課は、やっぱりこれ枚数ですから、さっき言うように。いろんな団体をお願いしに行って、枚数を上げてやらないと、これだけのテストマッチをやって大成功、満席にして大成功すれば、また次から次といろんな要望が出

てくると思うんですよ。

だけん、それはやっておられるかもしれぬけど、屋上屋を重ねるようだけれども、そのところも、観光団体とも、やっぱり会議に出ていってお話をしてやるような形、もうやられとっと思うんだけど。ただ、結果が出ますから、これは枚数の。そのところをやっぱりやっていただきたいなと思っております。

それと、九州・山口との取り組み、3点目は尋ねましたけれども、ラグビー協会としっかりその点は考えて、もうやっぱり各県にラグビー協会はあるわけですから、そこに一緒に出向いていってでもやっぱりやっていただきたいなと思ってるんですよ。

そしてまた、私もサッカー協会副会長で、Jリーグの誘致とかよくやって運営に携わったりしたんですけれども、やっぱりいろんな競技団体、特にサッカー協会はいろんなノウハウを持ってますから、そういったところも十二分にやっぱり部長、連携をとってやられるようにしないと、運営上の問題についてもぴしゃっとしないと、やっぱり人間が入っただけ、人間が入るとまたいろいろトラブルも起きますので、その点をお願いしたい。

それと、ちょっとお尋ねになるんですけれども、引き続きいいですか。

○池田和貴委員長 はい、どうぞ。

○荒木章博委員 これ、要するに2万5,000人かな、入るんだけど、もちろん、これは予算としてはどのくらいかかるんですか。

1億ぐらいですか。見込みとしては1億ぐらい見ているんですか、見込みは。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 会場整備等を含めて、大体計6,000万円ぐらいを考えております。

○荒木章博委員 6,000万。

それと、これは県のサッカー協会にはどのくらい入るんですか。何パーセント。（「ラグビー協会」と呼ぶ者あり）失礼しました。ラグビー協会。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 県のラグビー協会に県から何かお金が行くということはありません。

○荒木章博委員 ない。Jリーグなんか熊本でやりますと、協会宛てに何パーセントか、手伝う形の中でやるんですよね。ラグビーの場合には、今どうなっているか、ちょっとわからないけれども、今はないということで認識していいんですか。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 失礼しました。日本ラグビー協会と県協会の間では、ちょっとそこところは把握しております。

○荒木章博委員 それで、例えば1%か2%とか、もし来るのであれば、そういったところで、やっぱり広報あたりも県協会と相談をしながら、もちろん熊本県も広報あたりをやられると思うんですけれども、そこあたりもやっぱりこう——もちろん資金は必要ですからね、県協会も。もしそうであれば、県協会にもやらなきゃいかぬと思うんですけれども、そういったところで、やっぱり積極的に——広報というのが一番だと思うんですよね。

さっきも、何遍も言いますがけれども、学校あたりのところ、そしてまた高校なんか、やっぱりこのテストマッチが、日本チームが来るんだという、特に橋口先生あたりはラグビー出身だし、ラグビーの先生がたくさんいらっしゃるから、学校あたりの認識がやっぱり高揚していくようなものを、熊本県がやっぱ

り夢を与えるようなやつをどーんと打ち出してもらいたいと思うんですよね。よろしくお願いします。

ちゃんと考えておられるとは思いますが、私も委員会に所属している以上は、やっぱりぜひぜひ、委員長を初め、こうした委員会を開かれるということは、委員長、副委員長の情熱があるからこそ、やっぱりやられると。後で、あいたしもとと、人が7割しか入らなかったということでは、私は——そしてまた押し売りになっちゃいかぬから、やっぱり本当に買うんだと、それからやっていただきたい、かように思っております。

以上です。

○池田和貴委員長 ありがとうございます。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 済みません、ちょっとお時間いただいて。

県協会もいろんな、現在もちろん活発に活動をされております。

1つだけちょっと御紹介させていただくと、資料の7ページの広報活動の左に看板がありますけれども、これは白川の太甲橋際のビルなんですけれども、これは県のラグビー協会の方のビルでございまして、この看板はもちろんうちのほうで作成したんですけれども、その掲示は御好意で無料で掲示させていただいているとか、そういったいろんな御協力はいただいております。

また、日本ラグビー協会も、連休の前には、今現在の若手のチームの日本代表のキャプテン、熊本出身の選手なんですけれども、地元に来て、子供たちの教室などを通じて大会PRに協力していただいたりとか、そういったことはどんどんやりますからというお声もいただいておりますので、これからも連携して取り組んでまいりたいと考えております。

○荒木章博委員 あの感動から大分日にちがたって、感動を呼び起こすというのは非常に難しいんですよ。だから、前回やったときはかなり少なかった。感動を呼び起こすには、やっぱり日本チームという、あの柄ですよ、含めて、例えば小中学校、高校に選手の似顔絵を募集するとか、そしてそれをいろんなところで掲示するとか、そういういろんなアイデアを——やっぱり、ただポスターを持って行って、張ってきてくださいと言って、それはもう、こうやってラグビーが来るというのは、張るのもこれは大事と思うんですけども、そういう、やっぱり一人一人にあの感動を呼び起こすようなことをやっていただきたいなというのが私の思いですので、ちょっとまた余計なことを言いましたけれども、よろしく願いいたします。

以上です。

○池田和貴委員長 ほかにございませんか。

○西聖一委員 ちょっと細かいこともあるので、少しお尋ねしたいんですけども、今回3万2,000人近く集めるということで、かつてない動員というか、お客に来てもらうわけですから、その体制が大変だというのは、もう十分わかるんですけども、結局、観戦を気持ちよくしてもらうために、行政がいかにか今回しっかりしていくのが次の大会につながると思っている中で、ちょっと関連して聞くのが、1つは、パーク・アンド・バスライドとかメインなどの輸送システム、動員システムもできたんですけども、この会場周辺への送迎はお断りしていますというくだりがあるんですけども、どの辺まで考えているのかなということで、パークドーム周辺はもちろんですけども、例えば、火の国ハイツとか、センターリバーとか、ミスターマックスとか、そういうところを利用するお客さんもおるが、そこまで規制するのかとか、地域住

民にどこまで周知して、この規制対象にその日なりますよということをされているのか、ちょっとお聞きしたいんですけども。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 現在、その送迎について、どこまでとか、そういったことを含めまして、県警のほうとも協議を続けさせていただいております……（西聖一委員「今からということですか」と呼ぶ）どこまでというのは、詳細はまだ決まっておられませんけれども、でき次第周知に努めたいと考えております。

○西聖一委員 そこら辺はきちんと周知しないと、せっかく来て、もう帰れと、おりらせぬと言ったたら、非常に、家族で来る人たちなんかは頼んで送ってもらう人が結構おると思うので、よろしく願いします。

会場内のことですが、楽しく観戦する一つに飲食があると思うんですね。この飲食は、当然あると思いますし、そういう飲食店は、どういうところに働きかけているのか、ちょっとお尋ねしたいと思います。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 現在、例えばロアツ熊本戦では飲食ブースが出ますけれども、似たような感じをイメージしてちょっと準備は進めております。

まだちょっと済みません、詳細は、ちょっと本日……。申しわけありません。準備はもちろんいたします。

○西聖一委員 アルコール、ビールだったりも出るんでしょうけれども、トラブルがないようにということと、一部の業者、どうしても入札かなんか公平性を保てるようにしていただきたいというのが1つと、あと1つ、最後に。

雨の心配すると、もう切りがないんですけども、雨のときは、傘を差されたら見えな

くなりますよね。そのときは、観客はどういうふうなあれをするように何か考えておられるか、ちょっとお尋ねしたいと思います。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 観戦のスタジアムの中については、主催者の日本ラグビー協会のほうでされますので、現在のところは、事務局としては、そこまでは検討とかもしておりませんが、そういった御意見も確かにあるものですから、日本協会に今後そういったことを要望していきたいと、しっかり対策をとっていただくよう要望したいと思います。

○西聖一委員 やっぱり傘差されたら、本当おもしろくないので、やっぱり雨の日はかっぱで観戦とか、はっきり徹底したほうがいいのかなとちょっと思ったものですから、そこまで言わせていただきました。本当、頑張ってください。

○池田和貴委員長 ほかにございませんか。

○松田三郎委員 先ほどの荒木委員の御意見、御指摘は全くそのとおりだと思いました。珍しく私も一致いたしました。

冒頭、池田委員長、そして奥菌部長の御挨拶にもありましたように、今回のテストマッチの実績が、本番に向けての試合日程、組み合わせに大きく影響するんだろうというような、気を引き締めて私たちも取り組まなければならないと改めて思いました。

ですから、何も県の執行部あるいは県のラグビー協会だけにいろいろ注文をしてというつもりはございません。ですから、この委員会なり議会、議員も、応分の経済的な負担なり人員のいろいろ呼びかけなり協力しなければならないとっております。

後ほど詳しくはあろうかと思いますが、さっきおっしゃったように、そうは言っても、

荒木委員御指摘のように、我々、例えばちょっと状況違うかもしれませんが、選挙のときにいろいろたくさん来ていただくときに、ただ来てくださいじゃなかなか実数がふえないと。

やっぱり、しっかりお一人お一人に——数が多いから、お一人お一人にというわけにはいきませんが、やっぱり委員御指摘のように、ただ張ってくださいじゃなくて、ある程度こっちから、押し売りにならないようにとはおっしゃいましたけれども、きょうはマスコミは入っておりますが、半ば強制的なものが出てくるかも——この時期が時期でございましてから。

だから、我々も一緒に頑張っていきたいというのが1点と、ぜひ、これ経済環境常任委員会でも私申し上げましたが、本番のこのまたチケット販売等に当たっては、たしか今回も、恐らく本番はもっと強い拘束があるのかもしれませんが、ネットだけとか、プレイガイド等々でというだけでは、どうしても、熊本県内での県民の皆様、あるいは周辺の県から来ていただく方に、やっぱり直接お願いして買っていただくというのが、地道けれどもやっぱり一番効果があるのではないかと、いうふうに思っておりますので、どうか、国際組織か、あるいは日本のラグビー協会か、どっか知りませんが、そこにはできるだけ早目に——今回のようにぎりぎりになって、事務局の皆様のいろいろな御努力によって今回この枠もふえたんだと聞いておりますので、できるだけ早い時期から、熊本県でこれぐらいの数は自由に売らせてくれというようなことを、できるだけ早い時期に要望していただきたいというのが1点と、10ページの資料にあります電波媒体で、これも予定されているかもしれませんが、これラグビー協会ですべていろいろ広報していただいている、県も紙媒体等々でやっていただいている、何と、例え県知事が出て、直接この電

波で訴えられるというのが、県民の人の注目が一番上がるんだろうと。

これは要望でございますが、ぜひそういうのも県知事の出演も含めて検討していただきたいと。2点要望でございます。

それと、ちょっと確認でございますが、冒頭、奥菌部長が最後におっしゃったところですが、きょう、組み合わせ抽選会、水谷課長から、プール分けというのがあるということは、さっきのパンフレットでの説明がありましたが、プールA、B、Cでどこの国、あるいは、まだ決まってないところは、どこどこ地域を勝ち抜くだろうと、それが決まるきょうの段階という認識でいいんですか。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 そのとおりでございます。

○松田三郎委員 ならよかです。

○池田和貴委員長 今、松田委員のほうからおっしゃられたように、押し売りじゃないんですけれども、やっぱり誘う側の熱意がどう相手に伝わるかというのは、チケットが、足を運んでいただくかにやっぱり影響を与えるんだと思うんですね。

そういった意味では、多くの方がやっぱり熱意を持ってお誘いをしたりとか周知をしていくということが大事だろうというふうに思っております。

実は、もう松田委員のほうから今振っていただきましたが、きょう、この委員会の前に議会運営委員会がございまして、私たち議会としても、昨年、溝口委員長を中心に、この特別委員会をやっていただきまして、この6月10日の観客動員は非常に重要だということがされておりましたので、議運の中で、各会派の代表の先生方に、ぜひ、私たち議会としても、チケット販売を率先してやっていきたいということをお願いをさせていただいて、

大体御了解をいただいたところでございます。

先ほど、チケットの中のカテゴリー1でございますが、これ指定席でございますが、これが約2,800枚まだ売れ残っておりますので、この約10%ぐらい、約300席を県議会のほうで責任持って引き受けて販売をしようということで大体御了解をいただきまして、今後、各会派ごとにそういった話をさせていただくことになりました。

ぜひ、先生方も、そういったお話があるかと思いますが、ぜひ御協力のほうをよろしくお願い申し上げたいというふうに思っております。

もちろん議会としては、その300枚、カテゴリー1を300枚ということでございますが、それ以外のチケットをお話をさせていただいて誘っていただく分は、これは大歓迎でございますので、300枚は、これはぜひお願いをしたい。それからさらに別のところでお誘いしていただく分は本当にありがたい話ですので、そこもあわせてお願いをしたいというふうに思っているところでございます。

○溝口幸治委員 池田委員長の御意見に賛成ですが、とにかくみんなでしっかりノルマを果たすということと、あとプラスアルファが実は大事だと思います。

それぞれ先生方、動員はなれてらっしゃるので、動員のコツもおわかりだと思いますけれども、やっぱり今回はチケットを売るだけじゃなくて会場に来てもらうというのが大事なので、やっぱりそれぞれの地域から、さっき車のこともありましたけれども、例えば私の地域とか池田先生のところの天草とかというのは、もうマイクロバスでも借り切ってしまうと、そしてマイクロバスを登録しておかないと、それぞれ家用車で来ててもなかなか難しいかと思っておりますので、そういった工夫もぜひそれぞれの地域でやっていただい

て、プラスアルファの部分で、ぜひこの委員会でしっかりやっていく方向性を、ぜひ皆さん方で確認をしておきたいと。

もちろん強制になってはいけませんが、ある程度お願いをして、ぜひいい大会だから行ってくれというお願いをしないと、行った人が、ああ行ってよかったと後でやっぱり喜んでもらうとか……（「次の大会」と呼ぶ者あり）はい。それがまあ2019につながっていくと思いますので、ぜひ、その辺も委員長の方からまた皆さん方をお願いをしていただければと。

○池田和貴委員長 はい、わかりました。溝口委員、どうもありがとうございました。

バス等については、私ちょっとこの特別委員会にいなかったのだから、そういった貸し切りバスについては、たしか事前申し込みで直接会場のほうに行けるようになっていたんですね、水谷課長。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 きょうの資料の6ページをお願いいたします。

左のほうの表の——ちょっと小さくて大変申しわけないんですけども、真ん中やや下に、※1とありますけれども、大型バス、マイクロバスによる来場を御検討されている団体の方は、日本旅行までお問い合わせくださいということで、代理店日本旅行がそういうのをやっておりますので、こちらへ連絡いただくと駐車場も含めてお手配できると思います。

○池田和貴委員長 ということでございますので、ぜひ先生方も……。

岩田先生、どうぞ。

○岩田智子委員 私も初めてこの委員会に入りましたので、応援していかなきゃなと今心に思ったところなんですけれども、やっぱり

行き来というか、バスのことなんですけれども、パーク・アンド・バスライドの場合は1台1,000円ということで、それも駐車料金もバス代も入っててというので、とてもあいいなと思ったんですが、ほかの臨時直行バスなどは、往復2,000円というところがありますよね、城彩苑とか。そういうのは、子供は半額ですか。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 席を使われる場合は同額です。

○岩田智子委員 そうなんです。ちょっと前、新聞にこの様子載りましたよね。それで、2,000円だったら、家族4人で行くなら相当かかるななんてちょっと思っちゃったもんですから。わかりました。

○氷室雄一郎委員 ちょっと僕は、路線バス、車ではなかなかもう行けないわけでございますので、路線バスが2つあるわけです。

この路線バスは、もう既存のものだと思うんですけども、この時間帯には、どういう時間帯で路線バスは動いている。熊本駅から交通センターから2つあるんですけども、熊本駅は、あれは臨時バスが出ますけれども、交通センターは出ないと。かなりバスの輸送じゃないと、車では近づけないわけでございますので、この辺は、時間帯の変更——変更は、もちろん難しいと思うんですけども、もうこれは何もさわらない。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 路線バスは、通常運行されているバス会社の路線バスになります。

今回は、路線バスの臨時便というのは設定しておりません。そのかわり、城彩苑で交通センターからちょっと離れますけれども、こちらから、市内中心部からは、直行の路線バスは各停留所にとまっていますけれども、

直行バスは、そこから会場に直接御案内するというバスですので、ちょっと料金も高目になっておりますけれども、その分早く快適に着くということで設定させていただいております。

○氷室雄一郎委員 路線バスの時間帯、どの程度頻繁に出とるんですかね。私は認識していないんですけれども。

○池田和貴委員長 今の路線バスの時間ですよ。わかりますか。

○水谷国際スポーツ大会推進課長 済みません、すぐにちょっとわかりません、現在は。

○池田和貴委員長 じゃあ、後で氷室先生のほうにも、あと皆さん方にも周知するようにしてください。

ほかにございませんか。

○松田三郎委員 せっかく警察も来られていますので、これ、例えばミスチルのコンサートを参考にとということで、乗用車は原則入れないということで、ただ、それでも知らずに入ってこられる人とか、あるいは普通に通行する車両もあると思いますが、これ理想的にいくと余り渋滞せぬようになるわけですか。

○瀬河交通規制課長 会場に直接乗り入れをしないということを前提で交通輸送計画を組んでおります。周辺道路の負荷を一番下げる方法でということで、大会事務局のほうとは、今後また先ほど言われた停止禁止区域も含めて検討していきたいと思っております。

○池田和貴委員長 松田委員、よろしゅうございますか。

○松田三郎委員 いいです。

○池田和貴委員長 今回の輸送については、やはり大人数でやる場合の試金石というのがありますし、今まで何回かはやっぱり実績があるやり方でやられると思います。

ただ、私たち議員とすると、やっぱり私たちがやるときには、どうしても会場まで自動車で乗りつけるというのが大体主流になっていきますので、なかなかなじめないんですが、ぜひ、こういうやり方でやらないともうしようがないので、先生方も大変申しわけありませんが、自分たちにとってどれが一番いいのかというのをぜひ御検討いただきながら、いろんな手段はあると思いますので、何かありましたら、執行部または私どものほうにお問い合わせをいただきたいというふうに思っております。

何しろ、先ほど溝口前委員長がおっしゃられたように、一人でも多く足を運んでいただいて、観客がふえることが一番重要なことですので、ぜひ御協力のほうをよろしくお願い申し上げたいと思います。

済みません、私の発言1つ修正をさせていただきます。

先ほど、議会運営委員会の中でお願いをしたということでしたが、これは議会運営委員会が終わった後に各会派の先生方にお願いをしたということですので、済みません、そこは間違いでございました。修正をさせていただきたいと思っております。

ほかに何かございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 なければ、これで質疑を終了いたします。

最後に、その他に入りますが、何か先生方からございませんでしょうか。

○荒木章博委員 私も不徳のところですが、東京オリンピックは都の職員の方が全部バッジをはめております。それで機運を盛



り上げようというところで、各地にバッジを配ったりしていますけれども、私、ラグビーのバッジはめてないもんですから、職員の方も、ここも誰もはめてないし、職員もはめてないもんですから、あすから、もし余つとればみんな配っていただいて、全員で、県の職員の方も、余つとればみんなで盛り上げるように、委員長どうでしょうか。

○池田和貴委員長 はい、ありがとうございます。

○荒木章博委員 私もしとらぬから言うのですが。

○池田和貴委員長 荒木委員、ありがとうございました。

バッジはあるんですね。（「あります」と呼ぶ者あり）はい。

それでは、ぜひ各委員の先生方にまた再度配っていただいて、6月10日までは皆さんそれを着用して機運を盛り上げていきたいというふうに思いますので、どうぞよろしく願いしたいと思います。

ほかにございませんでしょうか。

なければ、これをもちまして本日の委員会を閉会いたします。

6月10日まであと1カ月を切りました。ぜひ先生方の御協力をお願い申し上げまして、これで本日の委員会を終了させていただきたいと思います。

お疲れさまでございました。ありがとうございました。

午前11時54分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

国際スポーツ大会推進特別委員会委員長